

救急医療の拡充へ

小児保健医療総合センターを視察

愛知県
党県議団

小児医療の充実をめざす公明党愛知県議団(鬼頭英一団長)は、このほど、大府市内にある「あいち小児保健医療総合センター」(前田正信センター長)を視察し、関係者との意見交換を行った。

同センターは医療部門のほかに、保健部門を備えていることが特徴。育児に関する時間外電話相談や、子どもの虐待防止に向けて児童相談所と連携を図るなど、幅広い分野で子どものケアを行っている。

また、同センターでは子どもが安心して過ごせるよう、療育環境の充実を図っており、一行は、こうした工夫が凝らされたプレールームや病室などを見て回った。

懇談の席上、前田センター長は、アメリカやイギリスなど先進14カ国中、1〜4歳児の死亡率は日本が最も高いという

データを紹介。不慮の事故など、一刻を争う状況に対応できる小児3次救急体制の確立に向け、小児集中治療室(PICU)の整備などをめざしていることを述べた。鬼頭団長は「いかなる地域に住んでいても、十分な救急医療を受けられることが重要だ」と語り、党県議団として医療基盤の整備・拡充に向けて、さらに取り組んでいく決意を示した。



ICU内で救急医療について話を聞く党愛知県議団のメンバー(左側6人)

公明 命を守る取り組み推進